

# ごあいさつ



こんにちは、愛媛県知事の中村時広です。  
みなさん、御存知でしょうか。花には花言葉があるように、木には「木言葉」があります。愛媛県が素材生産量日本一を誇るヒノキの木言葉は「不滅」です。古来、法隆寺など寺社仏閣に多く使われ、悠久の歴史を刻んできました。また、素材生産量全国10位のスギの木言葉は「<sup>さんけいみち</sup>荘厳」。参詣道に立ち並ぶスギの巨木を想像されるのではないのでしょうか。

さて、本県は、このヒノキ・スギの森林資源が豊富な全国屈指の森林・林業県であります。今後、林業の再生と山村地域の活性化を図るためには、こうした豊かな森林資源を戦略的に活用し、信頼性の高い売れる製品を生産するとともに、大消費地への販売促進が非常に重要であると考えております。

そこで本県では、素材の安定的な供給に向けて、間伐材の搬出を進める事業や、製材工場における加工施設や木材乾燥機、強度測定機の導入のほか、JASの認定取得も支援しており、業界と一体となって、品質・性能の確かな愛媛県産材の生産販売体制の構築を図っているところです。

また、本県の林業研究センターでは、原木や製材品の強度、材質、加工技術等について研究・調査を行い、愛媛県産材の信頼性を実証するとともに、木材の乾燥につきましても、材面割れ・内部割れや、材色変化がない乾燥技術を開発し、製材工場等へ技術提供を行っております。

このように木材加工業界と行政、試験研究機関が緊密に連携し、信用力の高い県産材製品の安定供給に努めますので、どうか皆様方には、愛媛県産材を安心して御利用いただきますようお願い申し上げます。

平成23年11月 愛媛県知事 中村 時広



愛媛県の製材製品出荷量は全国第7位であり、製品の約6割を県外に販売しておりますことから、今後の需要拡大のため、我々14社は、昨年6月、愛媛県産材製品市場開拓協議会を設立し、愛媛県行政と会員が一丸となって、首都圏等大消費地市場への販路の開拓に取り組んでいるところでございます。

その一環として、愛媛県産材製品のブランド化を図り、一定の品質基準による製品の差別化と供給ロツトの取り揃えが必要でありますことから、愛媛県林業研究センターにおける原木や製品の品質・性能試験の結果を活用いたしまして、愛媛県産材製品の特徴や優位性を示すなど、製品の信頼性向上と差別化を図り、当協議会の活動におきまして、大消費地等の県外市場開拓と併せて愛媛材のブランド化を推進していくこととし、スギ・ヒノキの品質基準を定めたところです。

このことで、素材生産量全国1位のヒノキ材をはじめとする愛媛県産材製品を、県外市場の皆様方に、信頼性のある製品であることご認識いただき、どんどん使っていただくよう、優れた製品の安定供給体制の整備を進めて参る所存であります。

なにとぞ、木材利用が促進されますことによりまして、豊かで美しい森林づくりと林業・木材産業の発展につながりますよう一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成23年11月 愛媛県産材製品市場開拓協議会会長 高山 康人

# 供給体制が整った愛媛県産材

～満を持して首都圏へ～

愛媛県産材製品市場開拓協議会の構成員と愛媛県が連携し、国内一の消費地である首都圏でのシェア拡大を合い言葉に、平成21年度から3カ年を費やし、戦略的に設備投資・人材育成などに取り組み、安定供給・品質管理・多様な製品供給への対応を徹底的に整えてきました。

安定供給

品質管理

多様な製品

ヒノキ素材生産全国1位

優れた木材乾燥技術

製材品出荷量全国7位

ヒノキ製材品E90以上99%

全社JAS材取扱い

新たな取り組みへの挑戦

愛媛県産材には  
マークがあります。

愛媛県内において製材・加工された製材品の需要拡大を図るため、製品に「愛媛県産材製品」を示す統一マークを表示しています。



## 愛媛県産材製品市場開拓協議会 構成員

愛媛県産材製品市場開拓協議会は品質の確かな愛媛県産材の生産・販売体制整備、市場開拓等を目的として、平成22年6月に設立されました。構成員は平成24年度末までにJAS認定取得が義務づけられております。

構成員名	ページ	構成員名	ページ
愛媛県林材業振興会議	—	株式会社 サイプレス・スナダヤ	12
社団法人 愛媛県木材協会	—	有限会社 成瀬製材所	13
愛媛県森林組合連合会	7	株式会社 日野相互製材所	14
愛媛林産商事 株式会社	8	有限会社 マルヨシ	15
久万広域森林組合	9	宇和国産材加工協同組合	16
八幡浜官材協同組合	10	菊地木材 株式会社	17
株式会社 瓜守材木店	11	河野興産 株式会社	18